

千葉市図書館おすすめブックリスト

よ ん で み よ う

<3・4年生>

あなたの心に豊かな読書体験が残るように、
図書館員が心をこめて本を選びました。

ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ/さく せた ていじ/やく
評論社 2006年(初1975年)

ロバの子のシルベスターは、願いがかなうという小石をひろいました。ところがその帰り道、目の前にライオンがあらわれたので、思わず「岩になりたい！」と願ってしまいました。岩になって動けなくなったシルベスターは、家にもどれるのでしょうか。



お江戸の百太郎

なす まさと
那須 正幹/作 長野 ヒデ子/画
岩崎書店 1986年

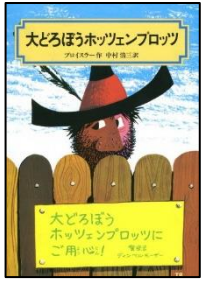
寺子屋で学ぶ百太郎は12才でしっかり者。岡っ引きの父ちゃんと二人ぐらしです。父ちゃんは人は良いけれど、捕物の腕は今一つさえません。百太郎は友だちといっしょに父ちゃんの手助けをします。いろいろな話が4話入った短編集です。全6巻。



大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスマー/作 中村 浩三/訳
偕成社 1966年

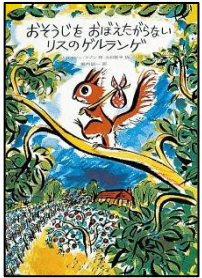
おばあさんのコーヒーひきをぬすんだ悪名高い大どろぼうをつかまえようと、まごのガスパールと友だちのゼッペルは作戦を立てますが、なんと大どろぼうにつかまってしまいます。ふたりは知恵をしぼって大どろぼうに立ち向かいます。全3巻。



おそうじをおぼえたがらないリスのゲルランゲ

J・ロッシュ=マゾン/作 堀内 誠一/画
山口 智子/訳 福音館書店 1973年

子リスのゲルランゲはおそうじが大きい。じまんの赤いしっぽを汚したくないからです。ある日、おばあさんにしかられて家を出し、オオカミにつかまりますが、少しもあわてず、意地っ張りの根性でオオカミをやり込めてしまいます。全2巻。



火曜日のごちそうはヒキガエル ヒキガエルとんだ大冒険1

ラッセル・E・エリクソン/作 ローレンス・ディ・フィオリ/絵
佐藤 涼子/訳 評論社 2008年(初1982年)

ウォートンとモートンはヒキガエルの兄弟。ある日、ウォートンはおばさんにおかしを届けようと出かけますが、ミミズクにつかまってしまいます。6日後の誕生日のごちそうにするためです。ウォートンは6日間をどのようにすごしたのでしょうか。全7巻。



がんばれヘンリーくん

ベバリー・クリアー/作 ルイス・ダーリング/絵
まつおか きょうこ/訳 学研プラス 2007年(初1968年)

ヘンリーくんは小学3年生。ある日、とてもやせた犬を拾います。あばら骨が見えるのでアバラーと名づけ、家につれて帰ろうとバスに乗ると、あばれだして大騒ぎに。それからというもの、思いがけない事件が次々におこります。

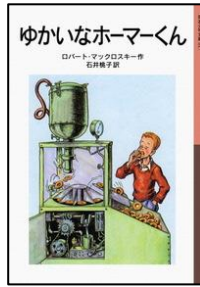


ゆかいなホームーくん

ロバート・マックロスキー／作

いしい ももこ やく いわなみしよてん
石井 桃子／訳 岩波書店 2000年(初1951年)

機械いじりが好きなホームー君は、ある日おじさんから、自動
ドーナツ製造機でドーナツ作りをたのまれました。ところがストップ
ボタンを押しても機械が止まらず、ドーナツがお店にあふれて
しまいます。6つの短いお話が入った短編集です。

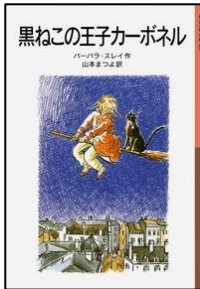


黒ねこの王子カーボネル

バーバル・スレイ／作

山本 まつよ／訳 岩波書店 1985年

10才のロージーは、夏休みのある日、市場で魔法のほうきと、
言葉を話す黒ねこを手に入れました。このふしぎな黒ねこは、ね
この国の王子カーボネルだったのです。ロージーは友だちのジョ
ンと、黒ねこにかけられた魔法をとくことにします。



セロひきのゴーシュ

みやざわ けんじ 作 もたじ たけし 武／画

ふくいんかんしよてん
福音館書店 1966年

セロひきのゴーシュは、演奏が下手でしかられてばかり。ある
晩、1ぴきのねこが、セロをひいてほしいとやってきます。それか
ら毎晩動物たちが次々にやってきて、演奏をねだるようになり、
ゴーシュの腕前もあがっていきます。さし絵も楽しい物語です。



小さなスプーンおばさん

アルフ＝プリョイセン／作 大塚 勇三／訳

がっけん
学研プラス 1966年

おばさんはいつも突然、時も所もおかまいなしに、ティースプー
ンくらいに小さくなってしまいます。困ることもありますが、知恵をは
たらかせて、いつも通りに困難を乗り切っていきます。

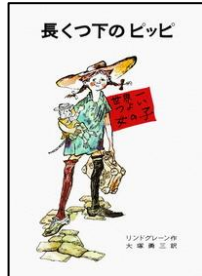


長くつ下のピッピ

おおつか ゆうぞう やく
リンドグレーン／作 大塚 勇三／訳

いわなみしよてん
岩波書店 1964年

ピッピは9才の女の子。世界一力が強くて、かわいいもの知らず。学
校には行かず、ごたごた荘でくらしています。ピッピのやることは
奇想天外ですが、となりの家のトミーとアンニカは、そんなピッピが大
すきで、いっしょに遊ぶようになります。全3巻。

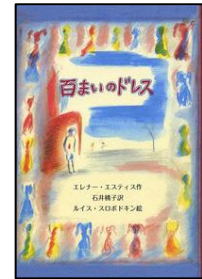


百まいのドレス

エレナー・エステイス／作 ルイス・スロボドギン／絵

いしい ももこ やく いわなみしよてん
石井 桃子／訳 岩波書店 2006年

ワンダは家が貧しくて、いつも同じ服を着ているという理由でいじ
められています。「百まいのドレスを持っている」と言ったため、まず
まずからかわれたワンダは、ある日美しい百まいのドレスの絵を残
して、学校にこなくなりました。



まだまだおすすめ
あります！

この本もよんでみよう

- 「おじいちゃんの口笛」ウルフ・スタルク／作 菱木 晃子／訳 ほるぷ出版 1995年
- 「妖怪一家九十九さん」富安 陽子／作 山村 浩二／絵 理論社 2012年
- 「シンドバッドの冒険」ルドミラ・ゼーマン／文・絵 脇 明子／訳 岩波書店 2002年
- 「ものぐさトミー」ペーン・デュボア／文・絵 松岡 享子／訳 岩波書店 1977年

千葉市図書館

中央図書館	043-287-3980	若葉図書館	043-237-9361
みやこ図書館	043-233-8333	緑図書館	043-293-5080
花見川図書館	043-250-2851	美浜図書館	043-277-3003
稲毛図書館	043-254-1845		

その他、分館・公民館図書室の情報や、各館の詳細情報はホームページをご覧ください。

千葉市図書館 検索

